

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和元年度 第3回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	令和2年2月13日(木) 14:00~16:00		
開催場所	嬉野市中央公民館(塩田公民館)2階 第2研修室		
会議の公開の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	戸田委員、鶴池委員、西川委員、白濱委員	
	事務局	総合戦略推進部長(池田)、企画政策課長(三根)、 企画政策課副課長(松本)	
	その他	なし	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	・ 第2期総合戦略(案)【2/13委員会】		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1 第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の検討について 2 次年度以降の総合戦略推進委員会について		
内 容	これまでの本委員会等での意見を踏まえ、修正変更を加えた第2期総合戦略（案）について内容説明し、委員からの意見聴取と内容検討を行い、最終的な総合戦略推進委員会（案）を作成した。また、次年度以降の本委員会の体制や開催予定について、事務局より説明した。		
審議経過	委員	<b>基本目標前までの前段部分</b>  第2期から分野横断的取組みを掲げているが、どの程度、積極的に活用していくのか。	
	事務局	分野横断的取組みについては、今回、国の戦略を見ながらの方針となりましたが、ここ最近の報道等では、随所でSDGsやSociety5.0とは何なのか等、新聞やテレビで問題提起される程度にはなってきたようですし、県等ではそういった取組みを絡めた動きもあるようです。 SDGsの持続可能な開発目標達成のためには、突き詰めれば、行政で行うほとんどの施策が繋がっていく。今後、具体的に深く取り組むべきSDGsの事業等も出てくるはず。その時にそこを毎年度の見直し等で盛り込んでいく形で推進していきたいと考えています。 Society5.0に関しても、今後、教育分野や医療・介護等をはじめ、あらゆる分野で著しく進歩していくことが予想されます。自動運転等も急速に進んでいるという報道もあり、近い将来、本市の駅周辺整備に活用できるかもしれません。今後このような本市で取り組むべき施策があれば、積極的に総合戦略に取り込み推進していきたい。	
	委員	この戦略の構造からいけば、横断的取組みのなかに具体的取組みがあつて、その取組みが基本目標に寄与できるものであるべきではないかと考える。次年度以降、その辺も踏まえながら取組みを具体化していかなければいけない。	

事務局	<p>そのように考えています。</p> <p><b>基本目標①</b> <b>嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる</b></p>
委員	<p>他の市町で将来、在住地域に住みたい・戻って来たい・貢献したい、と回答する割合はどれくらいですか。</p>
事務局	<p>今回、嬉野市出身の生徒だけでなく、全体の7割程度を占める市外在住者（鹿島市や武雄市出身が多い）にもアンケートを取りました。その生徒たちにも各出身地に対してどう考えているか、という質問をしています。本市総合戦略の指標（嬉野出身の高校生）とすることを優先していますので、現時点でその集計が出ていません。</p>
委員	<p>今回の指標は、嬉野市に住んでいる生徒だけを分母としているか。</p>
事務局	<p>はい。そうです。アンケート自体は嬉野市出身の生徒だけでなく、塩田工業・嬉野高校の生徒全員、500人程度に調査しています。</p>
委員	<p>「貢献したい」という項目は、かなり解釈の幅があると思うが。</p>
事務局	<p>それについては、まだ高校生なので「分からない」という回答も多くありました。それはもちろん除いていますし、なかには地元とは距離を置きたいと答える生徒もありました。</p> <p>昨今はいろいろな仕事のやり方があり、都会に住んでいても嬉野のために何か貢献したいということで、例えば、本市へアイデアをいただいりということもあります。貢献の仕方には様々なパターンがあると思いますので期待しています。</p>
委員	<p>移住に関する指標は、社会減に対応するものだと思う。社会減だけに限ると、嬉野市ではどのくらい減っているか。</p>
事務局	<p>第1期の社会減ですが、平成26年度から30年度の5年間の累計が758人で、単純に5年で割ると1年で平均150人超の数値となります。</p> <p>しかし、これは年々で出入りが激しく、年200人減の時もありますし、100人未満の年もあるような状況です。</p>
委員	<p>逆に自然減はどのくらいあったか。</p>

事務局	<p>自然減は出生と死亡の関係になってきます。平成26年度から30年度までの出生が5年間で945人、毎年約200人弱が生まれています。死亡が1847人で、毎年360～370人亡くなられています。出生との差（自然減）が5年間で902人、年間平均約180人が減少しています。</p>
委員	<p>この指標が達成できれば、社会減はほぼ解消されるのか。</p>
事務局	<p>この指標達成のみでは人口減の解消には至らないと考えています。実際には嬉野市等の支援に関わらず転入される方も多くいます。10ページの指標は何らかの支援制度を活用しての数なので、もちろん嬉野市への移住者（転入者）の合計はそれ以上の数値になります。</p>
委員	<p>前回、県での支援等を利用した方もこの指標数値にカウントすべきという話があったが、各制度利用者件数で移住者数の実数を導き出せるのか。</p>
事務局	<p>制度ごとに移住内容の確認をしますので問題ないと考えています。</p>
委員	<p>空き家バンク利用者と転入者数は違う。空き家バンク制度を使って市内の人が転居するという場合もありうる。転入者数のカウントという作業をしなければいけないがそれは可能か。</p>
事務局	<p>可能です。現在もやっています。空き家バンクを活用する方は市外からの転入者だけでなく市内の方の活用もあります。各制度利用の重複はあり得ますが、この指標は転入者のみをカウントします。今回、市内での転居を除く市外から来ていただく方のための施策を重点に推進していくこととしています。</p>
委員	<p>数値目標の基準年度表記などを西暦から和暦に統一されている。KPIも統一したほうがよくないか。また、数値目標及びKPIで「〇〇%以上」の「以上」表記はこれでよいか。人口社会増減の「マイナス500人」表記は、マイナスが付いているので表現が難しい。これでよいか他の委員さんにも伺いたい。</p>
事務局	<p>表記の問題はこの後の基本目標でも出てくるので、全体を見てもらってどちらがいいかご意見いただきたいと思います。</p> <p><b>基本目標②</b>  <b>嬉野市で働きたい“しごと”をつくる</b></p>

委員	19ページのKPIの表に単位が表記されているので、数値には「トン」表記はいらぬのではないか。
事務局	はい、そのように修正します。
委員	20ページのKPIで「累計」と表記しなくてよいか。例えば、6次産業化件数は平成30年度が6件、令和6年度が10件で間違いないか。
事務局	KPI標記全体として、累計表記がいいのか、年別がいいのか、迷う箇所がありました。6次産業化の件数は、基準値は平成30年度現在に取り組まれている件数です。令和6年度時には、平成30年度当時からに継続されている方、もうやめられている方、新規でやられる方、全部合計して、その時点の集計で10件が目標の数値ということなんです。
委員	前回の資料は、累計表記で今回は累計が外れていますが、どういうことか。
事務局	その時点、調査した時に結果が何件だったかということで、累計ではなくその年に調査した件数の結果の数を挙げるという考え方です。
委員	年度を重ねるうちに増減はするが、最終的に10件は実績としてありたいということですね。
事務局	はい。指標によっては統一するのが難しい部分もありましたので、累計と累計でない分というような、大きく分かりやすいような形にするにはこの方法が良いかと思います。
委員	そうであるならば、指標の「6次産業化件数」を「6次産業件数」等に変えた方が分かりやすいかもしれない。6件と10件なら、その年に発生した件数と勘違いしてしまい誤解を招く可能性がある。
委員	同じ質問だが、21ページの農業後継者育成のKPIについても、前回から「累計」を削除してある。考え方は同じか。
事務局	はい。青年就農者数は年度により増減があるようなので、同じような考え方で、令和6年度にはそれまで出入りはあったとしても、32人まで持っていきたい、という数値になります。
委員	前回累計表記であった青年就業者数は、次の新しい5年間で32人増

		<p>やす目標なのか、それとも増減がありつつも令和6年度に最終的に32人とする目標なのか、表現の仕方や意味合いの違いで目標数値がだいぶ違ってくると思う。</p>
	事務局	<p>以前からの累計表記にしても、5年間で32人増えるという意味合いではありませんでした。</p> <p>累計については、いつからいつまでか、分かりにくい表現になっていたので、括弧書きで何年度から何年度までと表記し、単年度のみ表記は、該当年度の調査した時点の実数値を表記するように統一したいと思います。青年就農者数については、各調査年度時点の該当名簿に登載されている人数となります。</p>
	委員	<p>指標の取り方としてこちらの表記が適切だという判断ですね。分かりました。</p>
	委員	<p>商店街の空き店舗率の目標値（12.9以下）に小数点が付いている点に違和感がある。基準値は実績値で小数点が付くのは仕方のないが、目標値は13.0ではダメなのか。</p>
	事務局	<p>目標値の設定については、これまでの実績等を考慮し各担当課で検討してもらっています。また、上位計画や国や県等で掲げられている項目もあり、その数値を持ってきている箇所も多くあります。この項目は当初14.2を掲げていました。今回、上位計画の総合計画に合わせての12.9という数値を設定しました。</p>
	委員	<p>現実的に後継者がいるかないかで、空き店舗になるかどうかを予測している。最悪25%という数値も出ており、4件に1件が空き家になる可能性がある。この12.9や13という数字を目指してしっかり対策していかないと厳しい。</p>
	委員	<p>21ページの営農組合の未組織地区での組織化数が「3」だが、これについても増減があるのか。1回組織化できればずっと残っていくものか。例えば、基準年度の平成30年度で「1」とあるが、目標値の「3」は基準値の1を含まない新たな（増加分）「3」なのか。</p> <p>他の項目は人数や法人数であり、多少増減があると思うが、組織化した営農組合も潰れたり、増えたりする場合もあるのか。</p>
	事務局	<p>一度組織化した営農組合は、現実的には潰れることはないですが、組織して、例えば過疎化等で人間が少なくなって、組織がなくなることとは可能性としてはあります。</p>

		<p>組織化数の「3」は基準値の1を含むR6年度までに組織化した数値が「3」となります。</p>
委員		<p>各項目で前提が違う目標数値が同じような表記になっているところがあり違和感がある。</p>
委員		<p>法人数は当然、経営が上手くいかず減することもあり、逆に新規で増えることもあります。未組織地区での組織化数は、未組織地域という限定が入っているので、1度組織ができてしまった地区は対象から外れるだろうと思う。増減するものと、増加のみしていくものと、ニュアンスが違ってきます。</p>
事務局		<p>組織数だと全体の数字になるが、「未組織地区での組織化」としているので、組織化数としては基本的には減少はなく、年度区切りの累計にしたほうが良いように思います。</p>
委員		<p>ちなみに「任意営農組合の法人数」の「8」は、平成30年度数値は一定期間の法人化数か、それとも全法人数ですか。</p>
事務局		<p>全法人の数になります。第1期の当初は「1組織」しかありませんでしたが、それを「9」増やして「10」までにしたいという目標でした。実績的には、平成27年度に「5」増えて全体で「6」、平成28年度に「1」増えて「7」、平成29年度に「1」増えて全体で「8」と推移しました。平成30年度は増えなかったのが平成30年度末までに「8」となっています。</p>
委員		<p>「法人化数」ではなく、「法人数」ということですね。 しかし、次の項目は「未組織地区」とあるので「組織化数」ですね。</p>
事務局		<p>それでは、上の項目の「任意営農組合の法人数」は現状で「8組織」あるものを、減はあまりありませんが可能性としてはあるので、それをR6年度までに「12組織」にするという形で、法人数とします。 下の項目は、「営農組合の未組織地区での組織化数」となっていますが、どうしましょう。</p>
委員		<p>「未組織地区での組織化数」とするなら、累計表記すべきで、累計表記がまずいなら、「営農組合組織数」として別途数値を持つべきだと思う。</p>

事務局	<p>ここは担当課としては、未組織地区を法人化とまではいかずとも、なんとか各地区の営農組織組合の組織化を推進したいところだと思いますので、項目を「未組織地区での組織化数」としたいと考えていると思います。</p>
委員	<p>それであれば累計が適切だと思う。</p>
事務局	<p>分かりました。括弧書きして、基準値をH26年度から30年度までの累計表記で「1」で、次期目標値をR2年度からR6年度までの累計表記で「2」と修正したいと思います。</p>
	<p><b>基本目標③</b> <b>嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる</b></p>
委員	<p>25ページの男女共同参画「男は仕事、女は家庭」というところで、今の時代これはどうなのか、というご意見が出されていたが。</p>
事務局	<p>昨今とりざたされている「育児休暇取得率」などに変更できないか検討しましたが、まだまだ数値の現状把握が困難で、今回、この指標としました。</p>
委員	<p>男性の育児休暇取得率ですよ。</p>
事務局	<p>はい。どうやって数値化するのが難しく、市役所内の統計は出せませんが、市全体の数値としては疑問符が付き指標として相応しくないと判断しました。また、この議論をしている時に、一部報道では育児休暇を取るだけとって何もしないというような事例もあるなどの話題もありました。</p> <p>新しい指標「日頃から家事に関わる男性の割合」の意図としては、何もしない人の割合が20%以上ありました。何を持って何をしないのかの基準は不明確ですが、例えば、ゴミ捨てぐらいだと何もしないに入るのか、個人の解釈にもよりますが、とにかく、何もしない人を減らす、何らか家事に関わる意識を持ってもらうということです。</p>
委員	<p>この平成28年度に実施された調査は今後も実施予定はあるか。</p>
事務局	<p>定期的に行っています。実施年度がこの指標に合致していない面がありますが、第2期期間中のR3、4年には行う予定です。</p>

委員	<p>根拠とした質問項目がずっと行われるということですね。 男性からの回答に限っているか。</p>
事務局	<p>はい、男性からの回答が基準になっています。女性に関しても聞いていて、女性が病気等の場合など男性がほぼ家事をやる家庭もあるかもしれません。また、男性だけの家庭もあるだろうし、女性だけの場合もあります。様々な家族形態があるなか、無作為に抽出した市民への調査となります。前回結果は、女性で全く家事をやっていないと答えた人が2.5%いて、男性は23.9%でした。</p>
委員	<p>この数値を向上させるために市としての具体的施策は何か。</p>
事務局	<p>男女共同参画の女性活躍の部分やワークライフバランスの充実の啓発、子育て制度についても男性を対象にした部分や料理・家事の分担制のレクチャーなどが考えられます。</p>
	<p><b>基本目標④</b> <b>嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる</b></p>
委員	<p>29ページの交通事故発生件数は、「以下」ではなく「未満」がいいのではないか。</p>
事務局	<p>現在、121なので121未満に変更します。</p>
委員	<p>全体に関わるところで、懸案事項として挙がっていた「%」表示は、「以上・以下」の表記があったほうがわかりやすい。 人口の社会増減は「以下」をつけておいた方がよい。△500人以下というのは、500人減までであれば目標達成か。</p>
事務局	<p>△500人以下の解釈が難しいので、「人口の社会増減」を「人口の社会減」として、「500人以下」としてはどうですか。マイナスを外せば、分かりやすくなりそうですが。</p>
委員	<p>その方がわかりやすいと思う。</p>
事務局	<p>「人口の社会減」を「500人以下」、基準値も「758人」に変更します。それでは、%の「以上・以下」表記はそのままとします。</p>

		<p>その他</p>
委員		市議会やパブリックコメントで出た意見を紹介してほしい。
事務局		<p>パブリックコメントについては、意見がありませんでした。</p> <p>市議会から出たのは、10ページのKPIについて「移住世帯数」としていたものを、地方創生の観点からは、人口減少社会にどう立ち向かうのかということを経営戦略として掲げているもので、人口減のから捉えると、「移住者数」が適当ではないかというご意見がありました。</p> <p>その他、数値目標やスケジュールの確認、第2期戦略の推進のやり方や推進委員会の組織等についてのご質問がありましたが、本委員会で議論するような内容はこれのみでした。</p>
事務局		<p>今後のスケジュールですが、本日協議いただいた内容を反映し、最終的な第2期総合戦略（案）として、3月の市議会に提案予定としています。承認されれば3月末に公表となる予定です。</p> <p>また、今後の推進委員会についてですが、一応、現委員会メンバーの任期は令和2年3月末までとなります。これまで若干の委員会メンバーの交代がありましたが、平成27年度の第1期総合戦略策定時から各年度の事業効果検証及び第1期総括、また、第2期総合戦略策定までの長期にわたり本委員会にご尽力いただき誠にありがとうございました。</p> <p>来年度からの推進委員会は、新たに委員を選定し組織する（再任を妨げない）予定としています。</p>
委員		PDCAサイクルの行動指針や総合戦略のアクションプランは別に策定するか。
事務局		PDCAサイクル及びアクションプランは総合戦略の中に記載しており、別での策定は予定していません。総合戦略に掲げる具体的な施策がアクションプランという位置づけになります。
委員		第2期総合戦略においても、内容を変更したり加えたりした方がいい部分を提案する等して、修正・改善を毎年度行っていくような形になるのか。
事務局		そのような考えています。例えば、6ページの分野横断的取組みについて、国から示されているのが、人材育成と新しい時代の流れの部分で、Society5.0やSDGs等について、今後、具体的に盛り込まれてくるのではないかと考えています。今のところ、本市総合戦略では具体

		<p>的な施策に盛り込まれているものが少ないですが、この先5年間でこの分野はかなり進んでくると思いますので、そういった場合、各分野での具体的な施策の中にSociety5.0やSDGsに関連した事業推進を盛り込んでいくことになります。</p>
委員		<p>本総合戦略の広報・周知についてはどう考えているか。せっかく、いいものができているので、一般市民や様々な団体にどうやって知ってもらえるかが重要である。</p>
事務局		<p>もちろん市ホームページにも掲載しますが、内容までは十分見られていないのが現状だと思います。</p> <p>総合計画策定時もそうですが、計画を作って市民の方々にどうやって周知を図っていくかという部分で、前は市長が対話集会を開催し、その際に総合計画を用い施策の説明を行いました。今回、総合戦略を策定しどう周知していくか。機会を捉えて様々な活動をされている各団体に対して対話集会をしたいという市長の考えもありますので、そこで本総合戦略を活用していこうと考えています。</p>
委員		<p>分野ごとに各関係機関が絡む重要な施策があり、その関係団体とどう取り組んでいくか、どういう計画をのものと実施するのか等を協議すべきだと思う。そうしないと絵に描いたモチになってしまう。</p>
委員		<p>私も自分たちの関連施策などについてどう対策すべきか考えていた。自分たちにできるアクションは何なのか。</p> <p>高校生アンケートにあったように、地元に残りたいと思っている若者もいるので、共にどういうことができるのかを考えることが重要だ。この総合戦略で市がどういう方向を向いているのかということ少し理解してくれるのではと思う。</p>
委員		<p>市民の皆さんに伝わっていない部分が多くあるように感じる。市職員の方が真剣に施策などを考え、様々な事業がなされていることを私たちは分かっているが、一般市民にまでは伝わっていない。効果的に周知できる方法があるといい。</p>
事務局		<p>前は総合戦略の周知を市長対話集会時にも行いましたが、この件は持ち帰って、今回どういう形で市民の方に効果的に伝えることができるか検討していきます。</p>
委員		<p>聞く側も興味を示さないと本当の意味での周知はできない。</p>

	<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>私の職種は商業関係ですが、農業の最新の傾向にも興味があったりする。自分の分野だけに限らず、様々な分野について認知してもらいたいと思います。市としてこういう方向にやっているんだということを示すことが大事だと思う。</p> <p>長時間にわたりご協議いただき誠にありがとうございました。これを持ちまして第3回総合戦略推進委員会を終了いたします。</p>
	なし	